

令和 8 年度事業計画

当協会は、「売れるものづくりを支援する」、「生産者と消費者の信頼関係を築く」、「すぐれた県産農産物を広く紹介し、販路拡大に努める」との基本方針のもと、県産農産物全体の生産振興及びブランド向上等に努めている。

引き続き、農業を取り巻く情勢の変化を踏まえ、県や関係団体、生産者組織と連携し、SNS 等の活用や構築したノウハウ、実需者・消費者とのネットワーク等を活かして、当協会が認定している「とちぎ和牛」や県オリジナル品種の「とちあいか」、「とちぎの星」を中心に、「野菜」や「果実」、「花」など県産農産物の認知度向上・消費拡大に向けた取組に加え、「園芸大国とちぎづくり推進方針」に基づくトマト・にら・アスパラアクションプランの実現に向けた対応やスマート農業団地化の推進、県産農産物の輸出促進等に係る支援について、以下の事業を効率的かつ効果的に実施する。

合計 78,304 千円（前年 79,227 千円）

1 産地づくり支援事業 14,400 千円（前年 15,552 千円）

消費者が求める安全・安心な農産物の生産とマーケットイン産地の育成を基本に、生産部会の活動を通じて新品種・新技術の普及支援、技術の高位平準化など生産対策を行うとともに、次代を担う生産者の育成を支援する。

（1）生産振興推進 6,110 千円（前年 6,000 千円）

① 生産部会活動

- ・生産 5 部会（いちご、野菜、果樹、花き、特産）の運営
- ・専門部・研究会等活動や展覧会開催等の支援
- ・いちごや野菜等目揃会の共催や開催協力
- ・「とちあいか」、野菜等の栽培技術研修会等の開催 等

② 各グランプリや共進会等の開催

- ・いちご王国グランプリ（表彰式）
- ・トマトグランプリ（審査）
- ・にっこり大玉コンテスト
- ・栃木県花の展覧会
- ・花き立毛共進会
（りんどう、鉢物、球根切花 3 研究会）
- ・こんにゃく立毛共進会

③ 新規栽培品目対策（新規）

気候変動等による将来的な栽培環境の変化に対応できる産地の形成に向け、新たな栽培品目についての研究セミナーの開催等を行う。

（2）いちご高品質化対策 1,506 千円（前年 1,772 千円）

いちご部会や栃木県いちご生産連絡協議会等と連携し、「とちあいか」の高品質安定生産及び流通段階における品質の確保対策等を実施する

【とちあいか高品質生産流通サポート事業活用】

（3）トマト・にら・アスパラアクションプラン実践対策

924 千円（前年 1,040 千円）

「園芸大国とちぎづくり推進方針」に基づくアクションプランの実現に向け、研修会の開催や情報発信等を行う

【トマト・ニラ・アスパラガスアクションプラン実践事業（委託）】

（４）スマート農業団地化の推進 2, 860千円（前年3, 740千円）

園芸の農業団地の形成に向け「スマート団地化推進員」の設置、地域の掘り起こし、団地化計画作成等の支援を行う

【スマート農業団地化推進員設置事業（委託）】

（５）オリジナル品種ブランド管理 3, 000千円（前年3, 000千円）

県種苗条例指定種苗生産等計画策定者としての対応、栃木県オリジナル品種の種苗許諾管理を行う

いちご(スカイベリー、とちあいか、なつおとめ、ミルキーベリー、とちひめ)、なし(きらり、おりひめ)、うど(栃木芳香1号、栃木芳香2号)、あじさい(パラソルロマン、プリンセスリング、エンジェルリング、キャンディポップ、スターポップ、ジュエリーポップ)、りんどう(栃木r2号、栃木r3号)等

2 販売戦略等策定支援事業 10, 030千円（前年10, 900千円）

県産農産物のイメージアップやブランド力向上を図るため、関係団体や地域マーケティング協議会等と連携し、“とちぎブランド”及び“地域ブランド”の確立、販路拡大等の支援を行う

（１）とちぎブランド推進 2, 030千円（前年2, 900千円）

① 県産農産物のブランド向上対策

- ・メディア等を活用したとちぎブランドの発信
- ・栃木県肉用牛総合共進会等開催及び「とちぎ和牛」ブランドPR
- ・京浜栃木青果物流通協議会の活動支援

【農産物マーケティング推進事業活用】

- ・地域ブランド農産物管理（地域ブランド農産物認証制度の登録・更新等）
- ・にっこり大玉のブランド化PR

② 「栃木プレミアム」生産者団体等の認証・更新等

（２）「とちぎ和牛」商標管理 8, 000千円（前年8, 000千円）

とちぎ和牛の商標管理及び認定促進

3 県産農産物に関する情報の受発信事業

37, 370千円（38, 184千円）

県産農産物の利用や消費拡大を図るため、県産農産物を総合的にとらえた情報発信やイベント、宣伝活動等を実施する

（１）とちぎブランド農産物情報発信 1, 600千円（前年1, 600千円）

① 各種媒体を活用した情報発信

協会HPや協会誌、Facebook、インスタグラム、各種メディア等を活用した情報発信を行う

【農産物マーケティング推進事業活用】

② LINE公式アカウント「とちぎ農産物♡クチコミ」等運営

県産食材の消費拡大に向けた情報発信及びお友達登録の推進、各種アンケート調査等を実施

- ③ 牛乳、乳製品等の普及推進支援
イベント等で牛乳普及協会と連携し、PR 等を実施
- ④ 県産農産物の利用・消費拡大 PR
 - ・商談会やイベント、YouTube 等を活用した情報発信
 - ・飲食店等と連携し、「トマト・にら・アスパラアクションプラン」に係る食材等活用のフェア開催等を通じた情報発信

(2) 県内における県産農産物活用推進・魅力発信

8, 212 千円 (前年 4, 110 千円)

- ① 「とちぎの地産地消推進店」の登録推進・管理
【農産物マーケティング推進事業活用】
- ② とちぎの地産地消推進フェア開催 (新規)
とちぎの地産地消推進店と連携したメニューフェアやコンテスト等の開催により、県産米などの地産地消を推進
【農産物マーケティング推進事業活用】
- ③ 観光地における県産農産物利活用の推進 (拡充)
県内観光地のホテルや飲食店等への県産農産物利用の実態調査や生産者と事業者との交流・マッチング、県内観光地での PR に加え、各地域の独自ブランド農産物等のブランド化支援等を実施
【栃木の農産物ブランド価値深化推進事業 (委託)】
- ④ 食育推進大会全体大会の開催 (新規)
食育推進全体大会に参加し、県産農産物の PR イベントに出展

(3) 県外における県産農産物活用推進・魅力発信

7, 108 千円 (前年 10, 424 千円)

- ① 「とちぎの旬彩店」の登録推進・管理
旬彩店の登録・管理及び県産農産物情報満載の「とちぎの旬だより」の旬彩店等への提供
【農産物マーケティング推進事業活用】
- ② 首都圏で県産農産物を活用したメニューフェア開催
飲食店での県産農産物の活用促進及び飲食店を通じた消費者への周知を目的としたメニューフェアを開催
【首都圏県産農産物活用事業活用】
- ③ 産地視察及び交流会を開催
メニューフェア開催等に向け、生産者と実需者を繋ぐことを目的として実施
【首都圏県産農産物活用事業活用】
- ④ とちぎのいちご魅力発信
首都圏のホテル等でとちぎのいちご PR を行う
【首都圏県産農産物活用事業活用】
- ⑤ 関西圏等で県産農産物魅力発信
生産者と実需者とのマッチングやメニューフェア開催等を行う
【関西圏における県産農産物活用推進事業 (委託)】

(4) とちぎの米利用及び消費の拡大 6, 350 千円 (前年 6, 350 千円)

- ① 「とちぎの星」販売力向上対策
「とちぎの星」の販売力向上のため、お米専門家等と連携した新たな販路拡大に向けた取組支援やプロモーション等を開催

【栃木のお米品質向上事業活用】

- ② 消費者団体等と連携したとちぎのお米普及・啓発

(5) とちぎ和牛消費拡大PR 10,600千円(前年12,500千円)

- ① SNS、web サイト等を活用した「とちぎ和牛」魅力発信

【とちぎの畜産物消費拡大支援事業】

- ② JA 全農とちぎに「とちぎ和牛」消費宣伝等を業務委託
③ 食肉まつり開催支援による「とちぎ和牛」PR

(6) とちぎフレッシュメイトによる県産農産物PR

3,500千円(前年3,200千円)

- ① 25 代目フレッシュメイトを認定
② イベントやメディア等でPR 活動
③ 動画の制作配信 (YouTube における生産者紹介や農産物PR) 等

4 農産物輸出支援事業 16,504千円(14,591千円)

人口減少等による国内マーケットの縮小や海外における日本産農産物の需要の高まり等に対応するため、関係機関・団体・生産者と連携を図りながら、安定的な輸出に向けた支援及び新たな輸出品目の開拓に取り組むとともに、海外への情報発信等を行う。

(1) 県オリジナル品種商標権管理 550千円(前年340千円)

県産農産物の輸出先国における商標権の取得及び維持管理等を行う

【輸出先国別戦略的販路拡大事業活用】

(2) 農産物輸出拡大コーディネート

15,710千円(前年14,000千円)

- ① 輸出促進員等の設置
② 産地支援及び輸出拡大に係る調査
(輸出相談対応、海外バイヤーと産地の商談支援、輸出に係る研修・セミナー開催、各国の市場・物流状況の調査等)
③ 海外バイヤーの招聘
④ 海外における県産牛肉プロモーション
⑤ 海外バイヤー等からの問い合わせ対応 等
【農産物コーディネート事業(委託)】

(3) 品目団体等との連携 244千円(前年251千円)

国が認定する「認定農林水産物・食品輸出促進団体」への参加等

【農産物輸出体制強化事業活用】

5 花き関連協議会等の運営(※協会予算とは別予算)

(1) 栃木県花き振興協議会

県産花きの生産・供給体制の強化を図り、花き産業及び花き文化の発展に資することを目的に、国の資金「ジャパンフラワー強化プロジェクト推進」費を活用し、生産供給体制強化に向けた実証に取り組むとともに、花きのPR・展示や花育活動等を行う

(2) 花咲くとしぎ推進協議会

県産花きの振興を図るため、メディアや飾花展示による花きの PR 等を行うとともに、市場関係者に対しても県産花きの PR を行う

(3) 栃木県いちご生産連絡協議会

いちごの栽培技術の向上や苗の確保を図るため、「とちあいか」の品質向上対策や「なつおとめ」及び「ミルキーベリー」苗の希望調査、配布等を行う